

Q.3

原発性ネフローゼ症候群とは
どのような病気ですか
治療法についても教えてください

どんな病気？
治療法は？

原発性ネフローゼ症候群です……



A 血液中のたんぱくが減少するため 浮腫や高脂血症を来す

かねとう腎泌尿器科クリニック院長 金藤博行 先生

腎臓にはネフロンという尿をつくる器官が約100万個あり、ここでは糸球体で血液をろ過し、尿管で再吸収や分泌を行って尿を産出し、老廃物の排泄と体液の成分のバランスを保っています。

通常たんぱく質は、糸球体ではほとんどろ過されないで尿中には微量（1日0.1g程度）しか出ませんが、0.5g以上のたんぱく尿は異常と判断します。ネフローゼ症候群とは、大量のたんぱく尿（1日3.5g以上）が持続するため、血液中のたんぱくが減少して低たんぱく血症（血液中のたんぱくが6.0g/dl以下）となり、そのために全身の浮腫や高脂血症を来す疾患です。

その原因が腎臓の糸球体にある場合を原発性ネフローゼ症候群と言い、腎臓以外の全身疾患

病院の検査で、尿中にたんぱく質が多量に含まれていることがわかり、腎臓そのものに原因がある「原発性ネフローゼ症候群」との診断が下されました。今まで、このような病名を聞いたことがなく不安に思っています。これは、どのような病気なのでしょう？ また、治療法についても教えてください。

(46歳/男性)

が原因で起こる続発性ネフローゼ症候群と区別します。糸球体疾患（糸球体腎炎）は、免疫学的な機序によって起こり、糸球体が障害を受けるためたんぱく質が尿に漏れるようになります。腎臓障害がゆっくり進行するもの、突発的に発症して急速に悪くなるものなど、いくつかのタイプがありますので、尿や血液検査だけでなく、腎臓の組織を採って（腎生検）診断をすることが必要です。

治療は、薬物療法（ステロイド薬、免疫抑制薬、抗凝固薬、抗血小板薬など）や食事療法（低たんぱく食、低塩食など）が中心になります。糸球体疾患のタイプによっては治療への反応性や腎臓障害の予後が異なってきますので、主治医の説明をよく理解して指導を守ることが大切です。